

抗日戦争
行事への
の意を表

南北関係
挙げ「緊
れわれと
的な役割
」と謝意

よると、
問題で「中
記した05
共同声明
理事会決議
派し、情勢
なる行動
述べた。
中韓の協力
アの平和
ための重要
」として
ことで一致

談は、3月
談で「最も
い時期」に

国への接近も鮮明になっ
た。

で可決、成立する。来年1
月から行政手続きで使われ

両法案はことし5月に衆
院を通過したが、年金情報

正したため、衆院であらた
めて採決する。

石木ダム問題

長崎新聞
西中段

9世帯宅地など対象

県、着手見送り

2015年9月3日(木)

反対派測量調査阻止



反対運動の象徴「団結小屋」の前で県職員(右)の立ち入りを阻む
反対地権者ら
= 2日午前9時47分、川棚町(山口隆行撮影)

県と佐世保市が東彼川棚町に計画している石木ダム建設問題で、県は2日、反対地権者13世帯のうち9世帯の家屋と土地などの収用裁決申請に向け、測量調査に着手しようとしたが、ダムに反対する地権者らが現場への立ち入りを実力で阻止した。県はこの日の着手を断念。現場は反対地権者の怒号が飛び交った。

【25面に関連記事】

県側が8月下旬に地権者4世帯の農地を強制的に収用した後、初の現地での対峙(たいじ)。今回の調査は裁決申請に必要な土地調査と物件調査の作成に必要な手続きで、県は2日から

相にも指導責任がある」と

クルーズ船情報

ニーズ・タイシャン(2万4000ト)

午前8時
佐世保港
乗客
300人
午後
同日
変更
生あり



7日までの平日4日間で実施したい考え。しかし反対地権者側は、先の農地収用を受け「一方的に土地を強奪された」とますます反発を強めており、今後、調査強行に踏み切れば、さらなる実力行動が予想される。調査対象はダム貯水池予定地内にある9世帯の宅地(約9千平方メートル)など約9万平方メートル。県は測量業者を含め約70人体制で午前と午後の計2回、3ルートに分かれて調査予定地に立ち入ろうとした。反対地権者側は約70人がそれぞれの進入口に分散して待ち構え、道路をふさいで県職員に中止を迫った。県職員は午前30分、午後は10分程度で引き上げた。(豊竹健二)

水や空

2015・9・3

| | | |
|----------|----------|-----|
| 週間 天気 | 予想 気温 | 風・波 |
| 4(金) | 21 | 長崎 |

贈り物
シンタール
ショッピング

き
3日9時

▲驚いた
れては、
う声が上
懸念した
日、米軍
き、「広
まい、故
と虚偽の
連合国軍
レスコー
上した

ゴバ、当時の美大生の作品一。

手席から一人の遺体が見つかる火災があり、杵築日出署は2日、身元を宮崎県小

ツイッターに書き込んだとして、警視庁荻窪署は2日

つた画像を投稿し制作会社に関連イ警備を強化させるを妨げた疑い。

荻窪署によると、徒はフアンのマナなどとして「ラブ好きだが、フアンだった」と供述、容

2015年9月30日(木)

「怒りを買うだけ」

石木ダム測量阻止 反対派 道路封鎖、県を批判

石木ダム 25日

県が2日、東彼川棚町の石木ダム貯水池予定地内で試みた現地立ち入り調査。県職員らは「調査させてほしい」と説得したが、反対地権者側は調査区域につながる道路を封鎖し、「県は泥棒だ。帰れ」と怒号を上げるなど、荒れた展開となった。

人を引き剥がしてでも事業を続けるのか、という正念場に来ている。それなのに知事が出て来ないのはおかしい」と指摘した。

古川章所長は、取材に「(土地収用で地権者の)怒りが増してきている。明日くらいまでは、何とか説得をしなければいけないだろう」と話した。

(緒方秀一郎、戸羽信介)

被害男性トラブル録音

佐賀2遺体遺棄 県警データ

昨年8月に山口県下関市の会社経営羅時燦さん(当時76)ら男女2人の遺体を佐賀市の残土置き場に埋め遺棄した疑いで於保照義容疑者(66)が逮捕された事件で、羅さんが事件前、容疑者に貸してトラブルとなつた土地をめぐるやりとりを録音していたことが2日、捜査関係者らへの取材で分かった。佐賀署捜査本部は音声データを入手、事件の経緯を知る重要な手掛かりと

石木ダムの立ち入り調査(9月2~7日)



- 石木ダム建設予定地
- 県が今回立ち入り調査する9世帯の家屋を含む土地(約9万平方m)
- 裁判手続きに入った4世帯の家屋を含む土地(約3万平方m)
- 国に所有権が移転した農地(約5500平方m)
- 既存の県道嬉野川棚線
- 川原公民館
- 川棚町消防団川原支隊詰所

調査区域につながるルートのうち、石木川下流域にある通称「団結小屋」(見張り小屋)前の道路では、反対派約30人が「土地も家も売らない」などと記したプラカードを掲げ、人垣で

別のルート上で県職員を阻止した反対地権者の炭谷猛さん(64)は「住んでいると批判した。」

県職員らの進入を阻止。反対地権者の代表格、岩下和雄さん(68)は県が8月に地権者4世帯の農地を強制収用したことふれ、「調査は怒りを買うだけ」「話し合いをしろ」という気持ちで県にあるのなら、やめるべきだ」と憤った。

明治天皇玄孫 大麻所持罪で日本オリンピック(JOC)の竹田のおいで、明治に当たる男を、8月に大麻取締法(持)の罪で起訴した。2日、捜査部

取材で分かった。関係者によると、京都在住の竹田(35)。警視庁麻

戻す作 4日ま 本部の 動は前 前日よ

秘め、 敏宏)

な仕事 った。 のまま は1枚 かにほ った。 のと 20代 いてい ない会 久代さ さん 手掛か

双方「譲らず、最終日へ」

石木ダム測量調査

反対派「付き合わされ迷惑」



土下座して強制収用反対を訴える地権者の岩下さんを引き起こす古川所長(左)
—4日午前9時47分、川棚町(山口隆行撮影)

今回の立ち入り調査は、反対地権者13世帯のうち9世帯の家屋などを含む約9万平方メートルが対象で、強制収用申請に向けた測量が目的。県は過去2回、別の4世帯の所有地などの立ち入り調査を試みたものの、いずれも拒否され、国土調査時の測量図などを使って申請している。

この日、県側は県職員と測量業者の84人体制で3ルートから調査区域に入ろうとしたが、これまでと同様、区域外の道路上で待ち構えていた反対地権者らにいずれも進入を阻まれた。県石木ダム建設事務所の古川

章所長は調査区域手前の「団結小屋」前で、「残り2日間です。何とか調査をさせてください」などと要請。これに対し、反対地権者の岩本宏之さん(70)は「4日間やってもだめだったというポーズづくりにすぎない。数十人の業者を待機させるだけ税金のムダ」と批判。また、岩下すみ子さん(66)は「私たちはここに住む権利を守りたいだけ。補償金も何も要らないので帰ってください」と土下座して訴えた。

県職員らは午前中に約15分、午後5分ほど要請した後、事務所に引き返した。古川所長は取材に「立ち入り調査を拒否された場合にやめると(土地収用法に規定されていない以上、続けなければならない)と述べた。別の場所で阻止行動をしてい

た反対地権者の岩永正さん(63)は「冬野菜の種まきがあるのに、帳面消しに時間を取られて迷惑。県は勝手に敷地に入ってくるので阻止行動で付き合うしかない」と憤まんやる方ない様子だった。(緒方秀一郎)

県「法に基づいて続行」

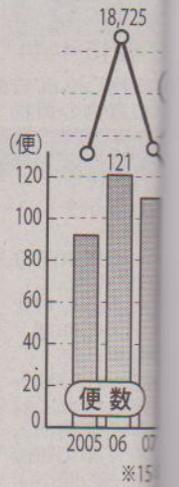
県と佐世保市が東彼川棚町に計画している石木ダム建設事業で、県が始めた現地立ち入り調査は、3日目の4日も反対地権者らの阻止行動を受けて見送られた。4日間の日程は県、反対地権者双方とも「消化試合」の様相を呈し、膠着(こうちやく)状態のまま7日の最終日を迎える見込みだ。

県内へのコンベンション誘致について考える「県コ

7市が支援制度紹介
大村で県セミナー

7市が支援制度紹介
大村で県セミナー

長崎空港の国際チャーター便



え込みなども運航に影響。14年度はパイロット不足もあり、34便3301人にとどまっていた。(豊竹健二)

などを想定した。駅員らが駅構内の状況を確認。諸永佑介副駅長は、心肺停止の重体となった負

源や宿泊者数などに応じたそれぞれの助成制度を説明。長崎市は夜景と世界遺産をアピールしたほか、島

参加者

佐世保市消防局

職員向けにメール

ハラスメント相

職場内での肉体的・精神的な嫌がらせ、いわゆる「ハラスメント」が相次いだのを受け、佐世保市消防局は4日、職員向けの悩み相談専用メールを近く開設する方針を明らかにした。

課題の

意思伝

同局では、2013年10月、約1年間にわたり上司からパワーハラスメントを受けた当時20代の男性消防士が自殺する事案が発生。今年8月には、部下にパチンコ代など計約30万円を無心するモラルハラスメントをしたとして、市東消防署の40代の男性消防副士長が懲戒処分を受けた。

同局ではこれまで、総務課が相談を受け付けていたが「なかなか相談がない」(同局)のが現状。このため専用窓口を明確にし、ハラスメント事案の早期発見

意図は、4動後初の異万才町の重要課題に有し、意思県内23署各部長ら80哲男本部長での刑法犯36件(昨件減)と減の、7月ンビニ強盗女性刺殺事

佐世保発！：渴水都市に市民ダム ／長崎

毎日新聞 2015年09月07日 地方版

福岡市に帰省して出席した中3の同窓会で、夏休みを直撃した1978年の渴水が話題となりました。給水制限は287日に及び、私も共働きの親に代わって給水時間に風呂に水をためました。94年から翌年に264日間の給水制限を経験した佐世保市の皆様も苦労を重ねたことでしょう。

ただ、2市の水源開発は異なる道をたどります。石木ダムに固執する佐世保に対し、福岡は「地理的に水資源に恵まれていないため(市外の)筑後川からの導水、揚水式ダムや海水淡水化など、さまざまな水源開発を行っています」(2009年水道長期ビジョン)。

海水から水をつくる「まみずピア」は05年稼働。1日最大5万立方メートルの能力は、石木ダムの給水量1日4万立方メートルを上回ります。運営の福岡地区水道企業団によると、コストは1立方メートル346円で、浄水場の98円より割高に。それでも導入したのは「天候に左右されない水源」だからです。

もう一つ福岡市の水源で感心したのが「市民ダム」。「市民全員が1日にバケツ1杯(10リットル)節水すると、1年で長谷ダムの満水量を超える550万立方メートルを節約できます」(水道局「福岡市の水道」)。節水は水源開発と同じ効果があり、新たにダムを建設せずに済むという考え方です。

一方、佐世保市の予測では、市民は節水どころか、12年度の1日当たり190リットルから24年度には207リットルに増やすとか。石木ダム必要論の背景ですが、連載「川原(こうばる)のいま」で紹介した通り、全体の使用実績は予測を下回る傾向にあります。

節水の市民ダム効果で、石木ダムがなくても水需要は賄えると考えるのは、反対派ばかりではないはず。昨年9月市議会の水道局長答弁によると、水道料金はダム完成後1世帯当たり年4000円の負担増に。料金面からも、市民にとって「石木ダムはいらない」との選択肢もあるべきです。〈佐世保支局長・峰下喜之〉

〔長崎版〕

県が立ち入り断念 石木ダム

2015年09月08日 読売新聞 九州



道路を塞いで、県の現地調査を阻む地権者ら(右側) 記事へ

- 県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム建設事業で、県は7日、2日から試みていた未買収用地(約9万平方メートル)への立ち入りを断念した。建設反対派の阻止行動を受けて着手できなかったもので、県は今後、別の手法で用地の調査を行う方針。

県によると、今回の調査は、9世帯の家屋や公民館を含む未買収用地を収用するための裁決申請に向けた作業の一つで、補償額の算定に向け、土地の測量や家屋の構造などを調べる予定だった。

この日、県職員や作業員らが、午前と午後の2回にわたり、3か所から立ち入りを試みた。しかし、反対地権者らが横断幕やプラカードを持って道路に立ちふさがって阻止した。その後、報道陣の取材に応じた県石木ダム建設事務所の古川章所長は「4日間で状況が変わらず、調査は断念した。他の知り得る情報を用いて調査していく」と語った。

県はこれまでの収用手続きでも反対派の阻止で立ち入り調査ができなかったが、国土調査法に基づいて作成された図面を代用するなどして裁決申請した。今回も同様の手順をとるとみられる。

反対地権者の岩下和雄さん(68)は「県の考えは強引すぎる。ダムをつくらせないという考えは変わらないので、まず私たちと向き合ってほしい」と話している。

長崎県が立ち入り調査断念 石木ダム、 収用手続きは続行 [長崎県]

2015年09月08日00時12分(更新 09月08日 02時30分)



抗議を続ける地権者や支援者に、立ち入り調査の断念を告げる
県石木ダム建設事務所の古川章所長(右)

長崎県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム事業で、県は7日、土地収用のため未買収地を測量する立ち入り調査を断念した。県は2日から7日までの平日4日間、調査を予定していたが、最終日のこの日も地権者らの抗議で調査できなかった。県石木ダム建設事務所の古川章所長は「このような状況では土地、物件の調書作成は困難」と述べ、既存の資料を用いて調書を作り土地収用手続きを進める考え

を明らかにした。

県は一部の未買収地の収用手続きを先行させていて、今回の調査対象はダムの水没予定地にある家屋や農地など残りの約9万平方メートル。この日、県職員ら約80人が3ルートに分かれ調査に訪れたが、地権者らが横断幕やプラカードを掲げ立ち入りを阻止した。

取材に応じた地権者の岩下和雄さん(68)は「私たちがここにいる限りダムはできない。県は事業認定を取り下げ、私たちと向き合って話をしてほしい」と話した。

＝2015/09/08 付 西日本新聞朝刊＝